

特集 令和5年度 新たな教職員研修へ!

教員免許更新制の発展的解消に伴い、教職員研修の体系が大きく変わります。今号では、令和5年度から始まる新たな研修体系の概要についてお伝えします。



全国の研修が、こう変わります!

昨年5月の法改正により、教員免許更新制は発展的に解消されることとなり、国から新たな教職員研修の在り方が打ち出されました。それが、「**研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励**」です。



これは、研修を受講するそれぞれの教職員が、管理職との対話を通して、その年に受講する研修を決定するという取組です。対話においては、それぞれの教職員がこれまで受けてきた**研修を可視化**した「研修履歴」を活用し、教職員に求められる**資質や能力**を踏まえつつ、どのような研修を受講すべきなのか話し合い、決定します。ここでは管理職が、教職員の**意欲や主体性**を大切にしながら受講に関する**指導助言**を行うこととされています。

対話に基づく受講奨励は、来年度から全国で展開されます。実施に当たっては、右に示した4点の整備が必要になります。新潟市の「新たな研修制度」については、次ページ以降でお伝えしています。

対話の舞台 期首面談 ・期末面談	対話の基盤① 研修受講 履歴記録	対話の基盤② 人材育成 指標	受講奨励の対象 新たな 研修制度
------------------------	------------------------	----------------------	------------------------

「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」の詳細については、総合教育センター・ホームページのトップ画面上に掲載した「免許更新制に替わる新潟市教職員研修」(オンデマンド動画)をご覧ください。



新潟市の研修は、こう変わります！

新たな研修制度の設計

教員免許更新制解消後の研修について、新潟市では「それぞれの教職員が主体性をもって受講をマネジメントすること」また、「働き方改革に十分配慮すること」そして、「それぞれの教職員のキャリアデザインやライフプランに即した受講を可能とすること」などを大切にして、制度の設計に当たりました。従来の免許更新制が10年スパンで2,700分程度を受講時間だったのに対し、この制度においては、午後半日研修の受講とした場合、10年スパンに換算すると1,600分程度を受講時間となります。

免許更新制に替わる新潟市教職員研修

新潟市の研修は こう変わる

**発展的
解消**

教員免許更新制

- 10年ごとに
- ある年に集中的に
- 30単位以上の受講
・ 総時間数 **2,700分程度**

**研修履歴を活用した
対話に基づく受講奨励**

第1ステージ

- 切れ目なく(初若→中→)


第2ステージ

- ニーズに応じて(選択研)

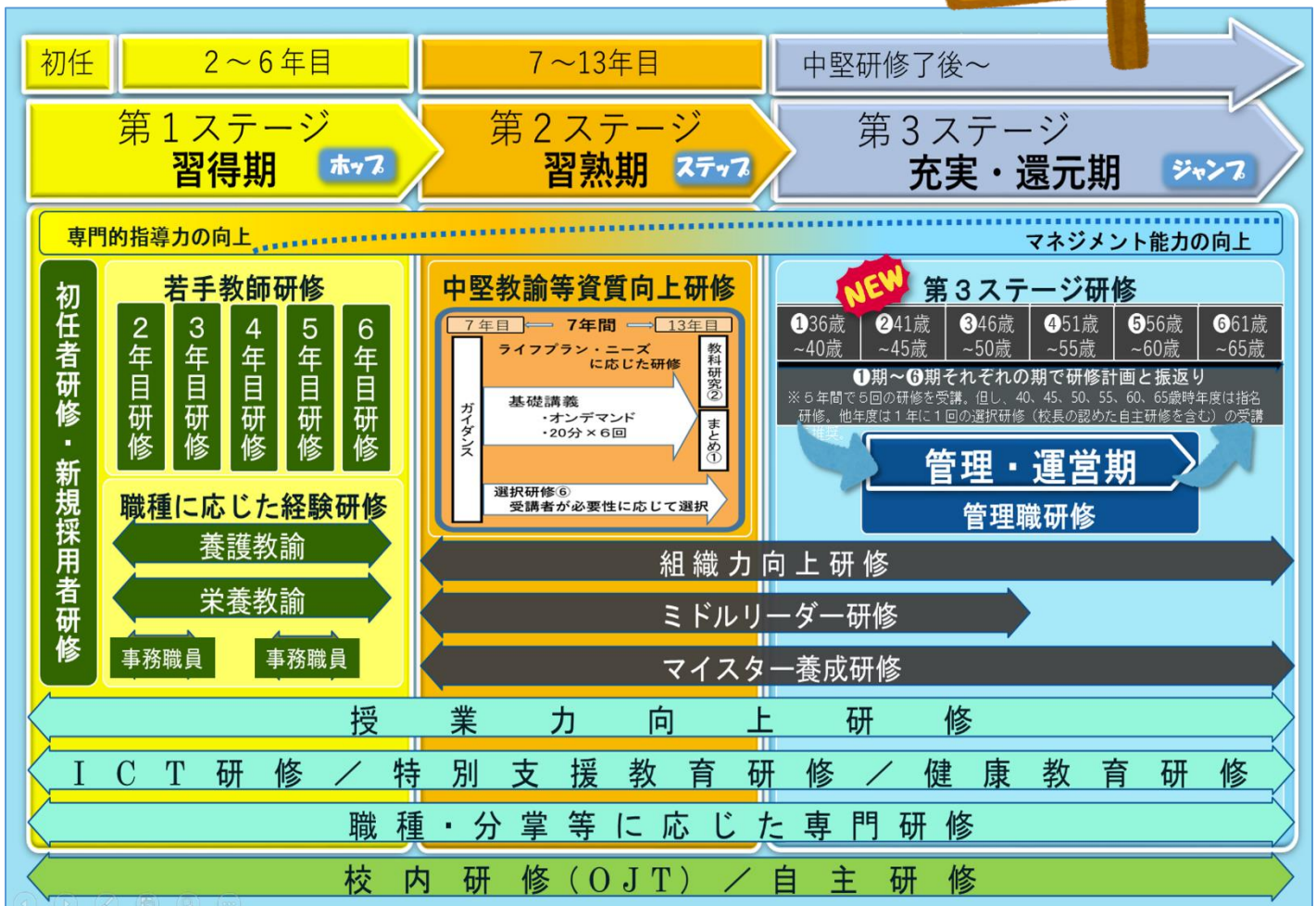
第3ステージ以降

- 5年スパンで
- 各年に分散して
- 原則5回の受講
- ・ 総時間10年で**1,600分**(半日研修履修の場合)

教職員の主体性
働き方改革
キャリアデザイン・ライフプラン



切れ目なく続く研修体系



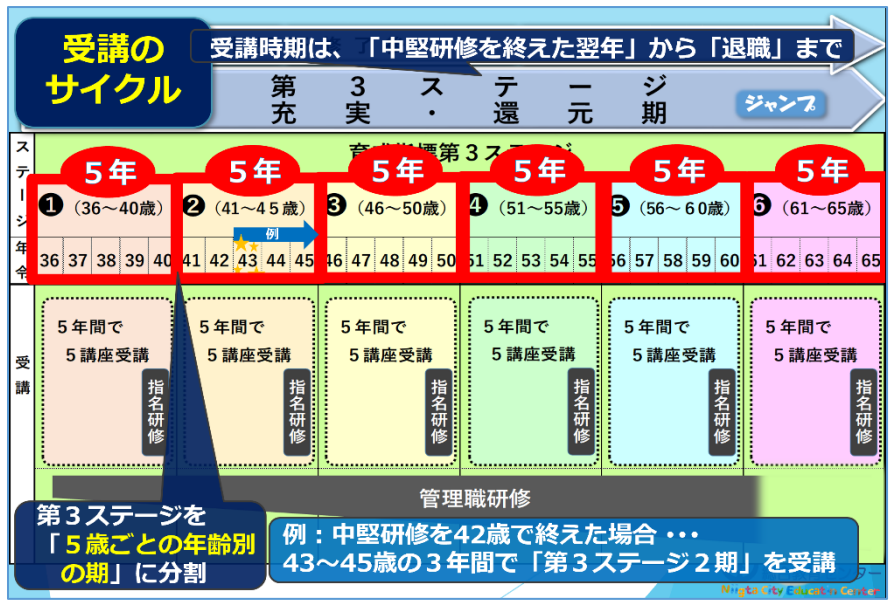
これが、新潟市の新たな研修体系の図です。令和3年度採用の教職員から若手教師6年目研修が新設されます。また、来年度の中堅教諭等資質向上研修(以下、中堅研)は、7年目から13年目までが受講対象となります。さらに、中堅研修了後、育成指標第3ステージ対象教職員に対して、第3ステージ研修を新たに設定します。この新しい研修体系により、採用から退職の年まで、切れ目のない研修体系が設定されることとなります。



第3ステージ研修の進め方

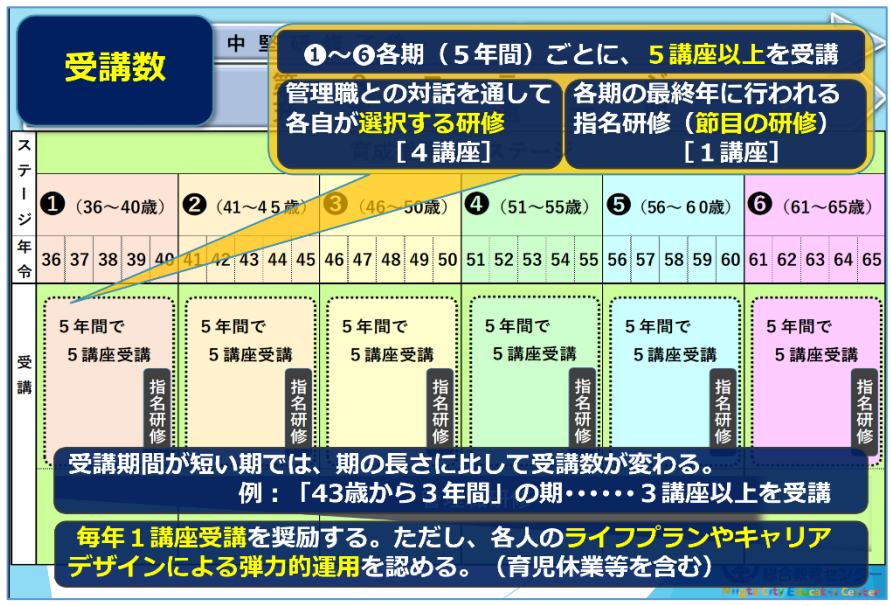
【研修のサイクル】

第3ステージ研修は、中堅研修了の翌年から受講開始となり、退職まで続きます。第3ステージ研修は、年齢による区切りとなります。第3ステージを5歳ごとの6つの期に分け、それぞれの期の5年間を研修のサイクルとします。第3ステージは、一緒に退職する同じ年齢の仲間と一緒に研修を進めることになります。



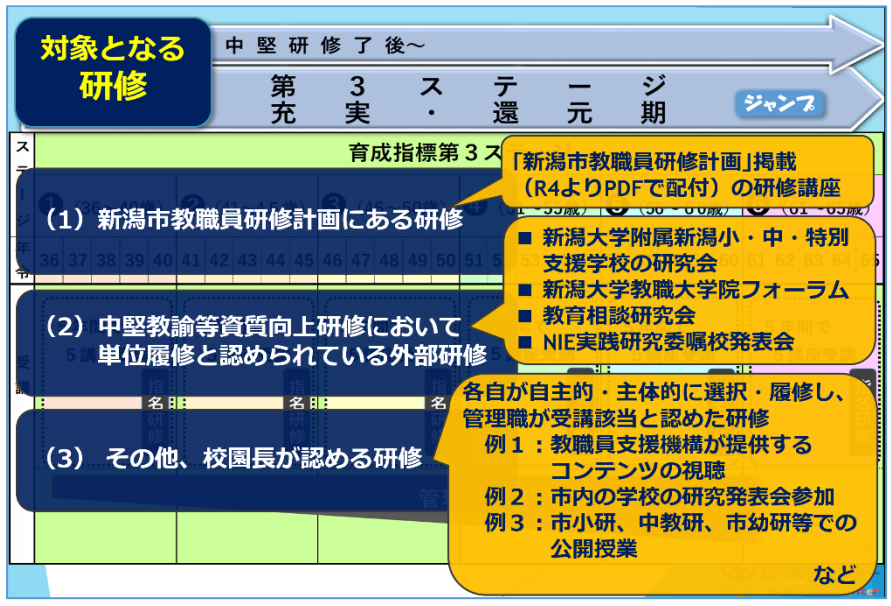
【受講数】

第3ステージ研修の各期では、5年ごとに5講座以上を受講することになります。5講座のうち4講座は選択研修となり、それぞれのニーズに合わせて研修を受けることができます。また、それぞれの期の最終年となる、40歳、45歳、50歳といった年には、対象者全員が受講する節目の指名研修が行われます。



【対象となる研修】

第3ステージ研修の選択研修の対象となる研修については、次の3つのタイプを想定しています。1つ目は、新潟市教育委員会が主管する研修講座です。2つ目は、現在、中堅研修で選択研修として認めている研究会等への参加です。3つ目は、教職員が自主的・主体的に履修し、管理職が第3ステージ研修の選択研修の受講に該当すると認めた研修です。



令和5年度の新潟市「第3ステージ研修」の詳細については、総合教育センター・ホームページのトップ画面上に掲載した「免許更新制に替わる新潟市教職員研修」(オンデマンド動画)をご覧ください。



総合教育センターの研修講座も変わります！

令和5年度は、受講者みなさんのニーズに応えることができるように、大幅に講座数を増やします。同じ分野の研修でも若手向け・中堅以降向けとレベルを分けたり、内容を細分化したり、現代的な教育課題や働き方改革の分野を追加したりするなど、受講者のニーズに沿った研修を提供します。来年度は本年度より73講座増やし、224講座を計画しています。詳しくは、年度初めにお知らせする「新潟市教職員研修計画」をご覧ください。



植物資料室 column

良薬口に苦し!!

～オウレン(キンポウゲ科オウレン属)～

オウレン(黄連)は、数少ない日本特産の薬用植物で、北海道、本州、四国の針葉樹林下に群落する常緑多年草です。

草丈は、10～20cm位で、根出葉は一回三出複葉(葉柄の先が3つに分かれ、小葉3枚からなる葉)、小葉は厚みと光沢、鋸歯があります。早春(3～4月)に、根元から高さ10～20cm位の花茎を伸ばし、先端に白色の花を2～3個咲かせます。花びらは、萼片(花の最も外側に位置し、花葉の中で葉の性質を最もよく残した花葉)より短く、細いさじ形になったもので、5～6枚あります。外側に花びらに見える5～7片の披針形(細長くて先が尖り、もとの方がやや広い形)のものは萼(萼片のまとまり)です。矢車状(軸の周囲に矢羽根を放射状に取り付けた形)の果実を揺らすと先端から種子が落ちます。

秋(9～11月)に、黄色の根茎を堀取って乾燥したものが生薬の「黄連」です。この根茎にベルベリンという成分が含まれ、苦味健胃薬の原料となります。他に、結膜炎、口内炎、高血圧予防、血止め、精神安定等に効果があるそうです。薬用植物として栽培もされています。

オウレンの写真はこちらから
総合教育センター・ホームページ内「植物資料室」ページ
(シリーズ<四季折々の植物>)

